

野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第18号
発行日：令和7年3月14日

調査日 令和7年3月12日（水）
調査圃場 45圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、たまねぎ、いちごなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市西農業振興センター、農薬・肥料メーカー
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ほうれんそう	べと病	-	増	ランマンフロアブル	100~ 300L/10a	2000倍	収穫3日前まで	3回以内
	ハウレンソウケナガコナダニ	少	並	アフーム乳剤		2000倍	収穫3日前まで	2回以内
トマト ミニトマト	コナジラミ類	少	並	グレーシア乳剤		2000倍	収穫前日まで	2回以内
たまねぎ	べと病	中	増	アミスター20フロアブル		2000倍	収穫前日まで	4回以内

★たまねぎ べと病の予防をしましょう！

・気温の上昇と降雨により、「べと病」の発生が各地区で確認されました。今後も周期的に天気が変わり、べと病の発生しやすい状況が続くと予想されます。

- ①隣接株に比べ草丈が低い
- ②葉色が部分的に黄色
- ③葉が湾曲している



上記のような症状のある株は感染の可能性がありますので直ちに抜き取り、ビニール袋に密閉し、圃場の外で処分しましょう。

・防除を未実施の圃場は、見回りをし、上記の抜き取りを実施するとともに、早めに予防のため薬剤散布をしましょう。

★病害の発生に注意しましょう

・キャベツ等での「菌核病」の発生が見られました。次の栽培での発生源にもなりますので、放置して拡大しないようにしましょう。
キャベツ菌核病登録薬剤例：
パレード20フロアブル、2000~4000倍
収穫前日まで、3回以内

★施設の換気を心がけましょう！

・施設栽培では、保温のためハウスを閉め切ると、湿度が高くなり、病気が発生しやすくなります。天候に合わせて適度な換気を心がけましょう。
特に、ハウレンソウのべと病の発生には注意してください。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第17号
発行日：令和7年2月14日

調査日 令和7年2月12日（水）
調査圃場 51圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、にら、たまねぎなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、兵庫県病害虫防除所、JA全農兵庫県本部、
神戸市西農業振興センター、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ほうれんそう	べと病	－	増	レーバス フロアブル	100～ 300 L/10a	2000倍	収穫3日前 まで	2回以内
キャベツ	菌核病	少	並	アフェット フロアブル		2000倍	収穫前日 まで	3回以内
ブロッコリー ※黒すす病は 「はなやさい類」 で登録あり	黒すす病	少	並	アフェット フロアブル		2000倍	収穫前日 まで	3回以内
	べと病	－	増	レーバス フロアブル		2000倍	収穫7日前 まで	2回以内
たまねぎ	べと病	少	並	ジマンダイセン 水和剤 ※1		400～ 600倍	収穫3日前 まで	5回以内
	白色疫病	－	並			400～ 500倍		
いちご	ハダニ類	少	並	ピタイチ		500倍	収穫前日 まで	－
	アザミウマ類	－	増					

※1 リドミルゴールドMZとの合計使用回数に注意！

★病害虫の増加に注意！！

- ・今回キャベツの菌核病やブロッコリーの黒すす病等の病気の発生が見られました。今後発生が増加すると予想されるため、野菜全般において殺菌剤による予防を実施しましょう。特に菌核病は販売先からのクレームにつながりますので、注意が必要です。
- ・ハウス内において多湿、水滴落下、温度上昇に注意し、適宜換気を行ってください。
- ・今後は気温の上昇に伴い害虫も増加すると考えられるため、圃場をよく観察し害虫の発生初期に防除を行ってください。



★神戸西グリーンセンター

春の感謝祭の開催！！

日時：令和7年3月14日（金）・15日（土）
9：30～15：30
場所：神戸西カントリーエレベーター前
内容：鶏糞（キングパワー）15kg 140円
※各日限定30袋の販売
肥料・農薬の感謝祭特価での販売
肥料空袋・農薬空ボトル・廃プラスチック（コンテナ・育苗箱）の無料回収
農機の特価での展示即売 他
※「農活」セミナー第3弾 同日開催
参加を希望される方は各支店へお申し込みください（先着30名まで）。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第16号
発行日：令和7年1月10日

調査日 令和7年1月8日（水）
調査圃場 48圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、にら、たまねぎ、いちごなど）
調査機関 兵庫県立農林水産技術総合センター、神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、
農薬メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤 (使用方法)	散布量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ブロッコリー	根こぶ病	少	並	ネビジン粉剤 (全面土壌混和)	20~30 kg/10a		は種又は 定植前	1回
				ネビジン粉剤 (作条土壌混和)	20 kg/10a			
たまねぎ	べと病	少	並	ジマンダイセン 水和剤※1	100~ 300L /10a	400~ 600倍	収穫3日 前まで	5回以内
	灰色かび病	少	並					
いちご	ハダニ類	少	並	グレーシア乳剤 ※2		2000倍	収穫前日 まで	2回以内

※1 リドミルゴールドMZ との合計使用回数に注意して下さい。

※2 天敵ダニに影響の可能性あり！

★べと病に注意！未発生の圃場は 予防を心がけましょう！

《たまねぎ》

極早生の品種で一部発生がみられました。べと病は感染力が非常に強く、胞子は風によって遠くまで飛散するので注意が必要です。罹病株を見つけた際はすみやかに抜き取った後焼却等による処分をし、薬剤散布を行ってください。



近隣の早生・中生品種へ飛散しないよう注意しましょう。

《ほうれんそう》

今回の調査では確認されませんでした。温度が上がり、湿度が一定以上になると発生が予想されます。定期的な予防と、発生を確認した場合は早めの対応を心がけましょう。



★根こぶ病発生圃場は、今後の 管理に注意しましょう！

・ブロッコリーの圃場で根こぶ病の発生が一部確認されました。生育不良につながりますので、次の作では下記のポイントに注意して栽培しましょう。

- 罹病株の根はトラクターでしっかり粉碎し腐らせるか、圃場外へ持ち出す。
- アブラナ科野菜の連作を避ける。
- 抵抗性品種を使用する。
- 石灰資材を使って土壌pHを上げる。
- 定植前に薬剤を土壌混和する（例：ネビジン粉剤）もしくはセルトレイへの灌注処理を行う（例：オラクル顆粒水和剤）。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。



野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第15号
発行日：令和6年12月13日

調査日 令和6年12月11日（水）
調査圃場 55圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、にら、たまねぎなど）
調査機関 兵庫県立農林水産技術総合センター、神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター、農薬メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ブロッコリー	黒腐病	少	並	Zボルドー	100～ 300 L/10a	500～ 1000 倍	-	-
	黒すす病	少	並	アミスター20 フロアブル		2000 倍	収穫前日 まで	3回以 内
いちご	アブラムシ類	少	並	コルト顆粒水和 剤		3000～ 4000 倍	収穫前日 まで	3回以 内

★アブラムシ等の発生に注意しましょう！

- ・気温が下がり、害虫の発生は全体的に少なくなってきましたが、「施設栽培のいちご」や一部の露地品目でアブラムシ類の発生が確認されました。
- ・初期の防除に努めましょう。
- ・白菜やキャベツなど結球野菜は特に、虫や死骸が付着していないかどうか確認してから出荷しましょう。



★追肥を忘れずに！

・多くの品目で、生育遅れの圃場が散見されました。本格的に寒くなる前に、即効性のある化成肥料や、葉面散布剤を散布し、生育を助けてあげましょう。

★たまねぎの追肥は年明けに！

年内に大きくなりすぎると抽台しますが、低温期の肥切れも抽苔の原因になります。年内は肥料を控え、1月になったら追肥して下さい。

☆水がないと肥料が吸えないので、乾燥が続くときは灌水して下さい。

おすすめ肥料！

JA園芸化成S500（20kg）

神戸西グリーンセンターで
随時店頭販売しています！

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第14号
発行日：令和6年11月15日

調査日 令和6年11月13日（水）
調査圃場 42圃場（軟弱野菜、キャベツ、ブロッコリー、たまねぎ、にんじんなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市西農業振興センター、JA全農兵庫県本部、
農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布 液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ほうれんそう	ハスモンヨトウ シロオビノメイガ	中	並	ディアナSC	100～ 300L /10a	2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
ねぎ	ネギハモグリバエ シロイチモジヨトウ	少	並					
キャベツ ブロッコリー	ハスモンヨトウ ヨトウムシ	少	並					
ケール (非結球あぶらな科葉菜 類(なばな類、のざわな、 チンゲンサイ、こまつな を除く)で登録)	ハスモンヨトウ ヨトウムシ	少	並	アフーム乳剤		1000～ 2000倍	収穫7日前 まで	3回以内
ブロッコリー	アブラムシ類	少	並	ウララDF		2000～ 3000倍	収穫前日 まで	2回以内
	黒腐病	少	並	Zボルドー		500～ 1000倍	—	—
たまねぎ	アザミウマ類	中	並	アグロスリン 乳剤(劇)	2000倍	収穫7日前 まで	5回以内	

※劇毒物は引取り時に捺印が必要です。(シャチハタ不可)

★病害虫に注意しましょう！

- ・チョウ目害虫（ハスモンヨトウ・ヨトウムシ等）をはじめ、アザミウマ類やアブラムシ類等も発生が確認されています。引き続き防除に努めましょう。
- ・ブロッコリーの黒腐病等、病気の発生も一部確認されました。圃場状況を確認し、早期発見早期防除に努めてください。降雨後に殺菌剤の予防散布を行うのも効果的です。

★グリーンセンター冬の感謝祭

開催予定！

- 日時：令和6年12月14日（土）
9時30分～15時30分
場所：神戸西グリーンセンター前
内容：肥料・農薬の感謝祭特価販売
鶏糞・豚糞の数量限定販売
肥料空袋・農薬空ボトル・
廃プラスチックの無料回収
※「農活」セミナー同日開催！
お申し込みは各支店まで



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第13号
発行日：令和6年10月11日

調査日 令和6年10月9日（水）
調査圃場 47圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、レタス、にんじん、玉ねぎなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市西農業振興センター、JA全農兵庫県本部、
農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
キャベツ	ハスモンヨトウ コナガ	多	並	プレバソン フロアブル5	100~300 L/10a	2000 倍	収穫前日 まで	3回以内
ブロッコリー (はなやさい類)	ハスモンヨトウ コナガ	多	並	グレースシア乳剤		2000~ 3000倍	収穫7日 前まで	2回以内
レタス	ハスモンヨトウ ヨトウムシ	多	並	カスケード乳剤		4000 倍	収穫3日 前まで	3回以内
たまねぎ	アザミウマ類	少	並	アディオン乳剤		3000 倍	収穫7日 前まで	5回以内
ばれいしょ	テトウムシダマシ類	少	並	モスピラン 顆粒水溶剤（劇）		2000~ 4000倍	収穫7日 前まで	3回以内

★ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウについて兵庫県から発生予察注意報が発表されています！

野菜類を中心に被害が多くなる恐れがあります。

注意

【防除上の留意点】

- ・若齢幼虫は集団で加害するため、卵塊や集団を発見したら、速やかに捕殺しましょう。
- ・中・老齢幼虫には殺虫剤の効果が高くなるため、薬剤防除は早めに行うことと、定期的の実施するように心がけて下さい。

★ブロッコリーの黒すす病予防を！

- ・近年ブロッコリーで「黒すす病」による花蕾の腐敗が多発しています。
 - ・黒すす病は最初に葉に発生するので、花蕾に伝染する前に防除することが大切です。
 - ・葉に、周りが黄化した黒点や輪紋状の斑点が発生したら薬剤散布を行ってください。また、風雨によって感染が広がるので、台風や長雨の後も薬剤散布をしてください。
 - ・小さな花蕾ができたらずら予防しましょう！
- 薬剤例（黒すす病）：アミスター20フロアブル
(2000倍、収穫前日まで、3回以内)
パレード20フロアブル
(2000~4000倍、収穫前日まで、3回以内)

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。



野菜病害虫発生予察情報

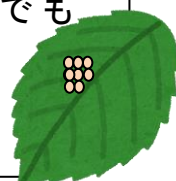
令和6年度 第12号
発行日：令和6年9月26日

調査日 令和6年9月25日（水）
調査圃場 47圃場（軟弱、きゅうり、にら、キャベツ、ブロッコリー、にんじんなど）
調査機関 兵庫県農林水産技術総合センター、神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部
神戸市西農業振興センター、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
(野菜類) こまつな (非結球あぶらな 科葉菜類)	コナジラミ類	少	並	フーモン	150～ 500L/10a	1000倍	収穫前日 まで	-
	ハイダラノメイガ	少	並	スピノエース顆粒 水和剤	100～ 300L/10a	2500～ 5000倍	収穫14 日前まで	2回以内
ほうれんそう	シロオビノメイ ガ	少	並	アクセルフロアブル		1000～ 2000倍	収穫前日 まで	3回以内
キャベツ	ハスモンヨトウ	多	並	グレーシア乳剤		2000～ 3000倍	収穫7日 前まで	2回以内
	ハイダラノメイガ	中	並					
ブロッコリー	ハスモンヨトウ	中	並	ヨーバル フロアブル		2500～ 5000倍	収穫前日 まで	3回以内
レタス類	ヨトウムシ	小	並	プロフレアSC		2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内
未成熟 とうもろこし	アワノメイガ	少	並	プレバソン フロアブル5		2000倍	収穫前日 まで	3回以内
きゅうり	褐斑病	少	並	パレード20フロア ブル		2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内
	うどんこ病	少	並					

★病害虫の増加に注意しましょう！

- ・ 今回の調査ではキャベツやブロッコリー等、アブラナ科野菜でヨトウムシ類、ハイダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）が多数確認されました。ヨトウムシ類は老齢幼虫になると薬剤が効きにくくなるため、定期的に薬剤防除を実施しましょう。
- ・ 特に葉裏に卵を産み付けているのを見つけたら、早急に除去しましょう。
- ・ 今後は野菜類全般で発生することが予想されますので、どの品目でも予防をしっかりとしましょう。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第11号
発行日：令和6年9月13日

調査日 令和6年9月11日（水）
調査圃場 37圃場（軟弱、きゅうり、なす、キャベツ、ピーマン、など）
調査機関 兵庫県農林水産技術総合センター、神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター、NOSAI、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
こまつな	ハイマダラノメイガ	中	増	ディアナ SC	100～ 300 L /10a	2500～ 5000 倍	収穫前日 まで	2回以内
きゅうり	コナジラミ類 アブラムシ類	少	並	スタークル顆粒水 溶剤		2000～ 3000 倍	収穫前日 まで	2回以内
ピーマン	コナジラミ類	少	並	モベントフロアブル		2000 倍	収穫前日 まで	3回以内
キャベツ	ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ	少	増	ブロフレア SC		2000～ 4000 倍	収穫前日 まで	3回以内
ブロッコリー (はなやさい類)	ハイマダラノメイガ	中	増	プレバソンフロアブル5		2000 倍	収穫前日 まで	3回以内
とうもろこし	アワノメイガ	少	並	パダン粒剤4	6 kg/10a 株の上から均一に散粒する		収穫7日 前まで	2回以内

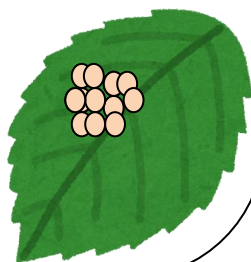
★病害虫に注意しましょう！

夜温が下がり、ハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）やハスモンヨトウ等の害虫が増えています。発生初期の対応を心がけましょう。

① 定植直後等に成長点を加害されると減収につながります。また、生育ステージが進むと薬剤が効きにくくなるため早期防除を行ってください。

（灌注処理をしても、定植2週間後には定期防除を始めましょう）

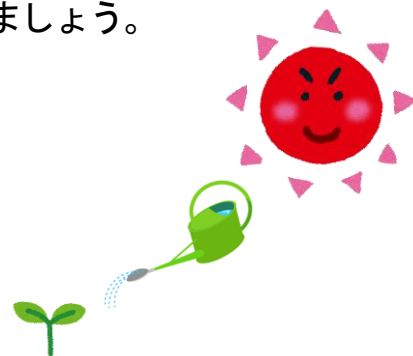
② 葉裏に卵の集団を産み付けているのを見つけたら、葉ごと除去することで、大きな被害を防ぐことができます。



★高温乾燥に注意！

高温乾燥が続いています。農作物が小さいうちは特に水管理に注意しましょう。

定植後の苗が活着するまでは、普段より水やりをしっかりとしましょう。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第10号
発行日：令和6年8月23日

調査日 令和6年8月21日（水）
調査圃場 36圃場（軟弱、きゅうり、なす、スイートコーン、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター
NOSAI、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
軟弱野菜 (野菜類)	コナジラミ類	少	増	フーモン	150～ 500L/10a	1000倍	収穫前日 まで	-
ねぎ	アザミウマ類	少	並	スピノエース顆粒水 和剤	100～ 300L/10a	2500～ 5000倍	収穫3日 前まで	3回以内
きゅうり	コナジラミ類	少	増	ディアナSC		2500倍	収穫前日 まで	2回以内
ピーマン	オオタバコガ	少	増	アフアーム乳剤		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
スイートコー ン	アワノメイガ	少	増	トレボン乳剤		1000倍	収穫7日 前まで	4回以内
	アワヨトウ	少	増					
えだまめ	ハスモンヨトウ	少	並	ブロフレアSC		2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内

★高温による害虫の増加に注意！

・ハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）やハスモンヨトウ等の害虫が増えてくる時期です。

定植前の苗等では特に、加害を確認してからの対策では手遅れとなります。予防的防除に努めましょう。

（例：ブロフレアSC、グレーシア乳剤 等がありますが、必ず対象品目、使用方法・量・時期等を確認して使用してください）

・今年は特に、カメムシ類の発生が多くみられています。果樹・果菜類（ピーマン、なす等）やスイートコーンの穂にも確認されましたので、圃場周辺の雑草管理や、薬剤による防除（例：スタークル顆粒水溶剤等）で被害を防ぎましょう。



★栽培後の片付けを早めにしましょう。

- ・害虫が増殖しやすい時期です。
- ・秋冬作の準備もあり、忙しい時期ではありますが、収穫期間終了後の植物体や、乾燥していない残渣は病害虫の発生源になります。次作への影響や、周囲への病害虫の飛散が懸念されますので、早めに片付けましょう。
- ・片付ける時間が取れない場合は、ハウスを閉めきる、株元を切って枯死させるなど、まずは植物体を生きたまま「放置」しないように努めてください。

★台風事前に備えましょう！

- ・排水路の点検、掃除をしておきましょう。
 - ・果菜類では支柱、誘引線等の点検、補強を実施し、台風前に果実を早めに収穫する等被害の軽減に努めましょう。
 - ・施設周辺の飛散しそうなものの撤去、被覆資材等の点検、補修をしておきましょう。
- ☆安全を最優先し、強風時は作業しないでください。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第9号

発行日：令和6年8月9日

調査日 令和6年8月7日（水）

調査圃場 28圃場（軟弱、きゅうり、スイートコーン、ピーマン、えだまめなど）

調査機関 兵庫県農林水産技術総合センター、神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター、NOSA I、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲

発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	キスジノミハムシ	少	並	ブロフレアSC	100～ 300L/10a	2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内
ねぎ	アザミウマ類	中	並	スピノエース顆粒 水和剤		2500～ 5000倍	収穫3日 前まで	3回以内
トマト	コナジラミ類	中	並	グレーシア乳剤		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
モロヘイヤ	ハダニ類	中	増	コロマイト乳剤	300L/10a	1500倍	収穫前日 まで	1回
未成熟 とうもろこし	アワノメイガ	少	並	プレバソンフロア ブル5	100～ 300L/10a	2000倍	収穫前日 まで	3回以内
えだまめ	カメムシ類	中	並	モスピラン顆粒 水溶剤(劇)		4000倍	収穫7日 前まで	3回以内

★高温・乾燥に注意！

高温・乾燥が続いています。栽培中の野菜の灌水については、涼しい時間帯に谷に流す程度（走り水）にし、畝間に溜まった水がお湯にならないよう注意しましょう。



★定植前後の水分量に注意！

畝立て後灌水チューブを設置したり、畝の芯までしっかり水がいきわたるよう、定植前には圃場に水をたっぷり与え、定植後の苗が活着するまでは、普段より水やりをしっかりとしましょう。

谷水をとる場合は、植えてすぐは根が伸びていないので、多めに水をとるようにして下さい。



★果菜類の尻ぐされ対策をしましょう。

今回の巡回圃場では果菜類の尻ぐされ症状（石灰欠乏）が多く確認されました。

高温で根が弱り、土壌中の石灰（カルシウム成分）が吸えないことが原因の生理障害です。

カルシウム剤（例：カルプラス等）を週1回程度葉面散布するなどして、予防しましょう。※生理障害が既に出ているものを治すものではありません。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第8号

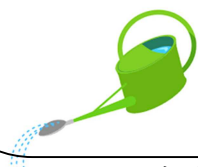
発行日：令和6年7月26日

調査日 令和6年7月24日（水）
 調査圃場 31圃場（軟弱、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、えだまめなど）
 調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター
 NOSAI、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ホウレンソウ	ハスモンヨトウ	少	増	ゼンターリ 顆粒水和剤	100～ 300L	1000倍	収穫前日 まで	—
ねぎ	アザミウマ類	少	増	スピノエース 顆粒水和剤	/10a	2500～ 5000倍	収穫3日 前まで	3回以内
きゅうり	ハダニ類	多	増	フーモン	150～ 500L	1000倍	収穫前日 まで	—
	コナジラミ類	中	増	フーモン	/10a	1000倍		—
	アザミウマ類	中	増	スピノエース 顆粒水和剤	100～ 300L	5000倍		2回以内
	褐斑病	中	並	アミスター20 フロアブル	/10a	2000倍		4回以内
なす	ハダニ類	中	増	フーモン	150～ 500L /10a	1000倍	収穫前日 まで	—
	アザミウマ類	少	増	スピノエース 顆粒水和剤	100～ 300L /10a	2500～ 5000倍		2回以内
トマト	葉かび病	多	並	アミスター20 フロアブル		100～ 300L /10a	2000倍	4回以内
えだまめ	カメムシ類	多	並	アグロスリン乳 剤（劇）			2000倍	収穫7日 前まで

★高温期の灌水に注意！

- ・高温・乾燥が続いています。水が不足すると害虫の発生を助長します。適切なタイミングで灌水を実施しましょう。例：朝夕の涼しい時間帯
- ・日中に貯まった水がお湯になってしまうと作物が傷みます。畝間灌水をする場合は水を貯めてしまわないように注意しましょう。



★害虫に注意しましょう

- ・気温の上昇に伴い、ハダニやコナジラミ等さまざまな品目において害虫が増加していますので、収穫期間が続く品目は引き続き注意しましょう。また、秋冬作品目については、ハスモンヨトウやハイマダラノメイガ等の発生が今後予想されますので、育苗期の発生を防ぎましょう。
- ・部会の申し合わせ等により薬剤散布回数に独自制限がある場合は、登録上使用回数制限のない気門封鎖剤（フーモン等）やBT剤（ゼンターリ顆粒水和剤等）を使用しましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第7号
発行日：令和6年7月12日

調査日 令和6年7月10日（水）
調査圃場 32圃場（軟弱、きゅうり、トマト、スイートコーン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター
NOSAI、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター


品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
こまつな	白さび病	少	並	アミスター20フロアブル	100～ 300L/10a	2000倍	収穫7日前まで	2回以内
なす	アブラムシ類	中	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		2000～ 4000倍	収穫前日まで	3回以内
	アザミウマ類	中	並			2000倍		
	コナジラミ類	中	並					
トマト	コナジラミ類	中	並	ディアナSC		2500倍	収穫前日まで	2回以内
	灰色かび病	中	並	パレード20フロアブル		2000～ 4000倍	収穫前日まで	3回以内
きゅうり	アブラムシ類	少	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		2000～ 4000倍	収穫前日まで	3回以内
	コナジラミ類	中	並			2000倍		
	うどんこ病	少	並	パレード20フロアブル		2000～ 4000倍	収穫前日まで	3回以内
えだまめ	カメムシ類	中	増	ダントツ水溶剤		2000～ 4000倍	収穫前日まで	3回以内

★果菜類の病害虫に注意！

- 果菜類で病害虫の発生が多く確認されました。収穫が続く圃場は被害葉の除去や薬剤散布等、早めに対処しましょう。
- 栽培が終了した作物をそのまま放置すると病害虫の増加のもとになるため、その作物は株元を切断する等して、まず作物を完全に枯らすように努めましょう。
- また、病害虫が付着したまま圃場外に持ち出すと被害が拡大する恐れがあるため注意しましょう。
- 成り疲れ等で品質低下が懸念される場合は摘花や追肥をする等して草勢の回復に努めましょう。

★7月19日(金)・20日(土)

夏の感謝祭開催！

場所：神戸西営農総合センター 

★栽培講習会のご案内

- ①超極早生玉ねぎ(出席者には粗品進呈)
19日(金)13:30～14:30
- ②スイートコーン抑制栽培 
19日(金)15:00～16:00
- ③農活セミナー(秋冬野菜の栽培管理等)
20日(土)10:00～11:30

★肥料空袋・農薬空ボトル・廃プラスチック回収(委任状が必要です)

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第6号
発行日：令和6年6月21日

調査日 令和6年6月19日（水）
調査圃場 25圃場（軟弱、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター、NOSA I、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ニラ	アザミウマ類	中	増	ディアナSC	100～ 300L/10a	2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
きゅうり	アブラムシ類	中	増	スタークル顆粒水溶 剤		2000～ 3000倍	収穫前日 まで	2回以内
	アザミウマ類	少	増			2000倍		
ナス	アザミウマ類	中	増	グレースシア乳剤		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
	ハダニ類	中	増					
ピーマン	アブラムシ類	少	並	モスピラン顆粒水溶 剤（劇）		4000倍	収穫前日 まで	2回以内
トマト	ハダニ類	中	並	マラソン乳剤		2000～ 3000倍	収穫前日 まで	5回以内
とうもろこし	アワノメイガ	少	並	アグロスリン乳剤 （劇）		1000～ 2000倍	収穫7日 前まで	3回以内
えだまめ	カメムシ類	中	増	アグロスリン乳剤 （劇）	2000倍	収穫7日 前まで	3回以内	

★梅雨時期の管理に注意

- 曇天が続くと作物の吸水能力が落ちるため、その後に太陽が照ると萎れることがあります。萎れたら土の湿り具合を確認し、十分湿っているときは灌水せずに様子を見ましょう。
- 管内全域でナメクジ等の被害が多発しています。
 - ハウスのすそ等の隙間など侵入経路をなくす。
 - ハウスの周りを除草して居場所をなくす。
 など、いま一度栽培環境を確認しましょう。また、被害の出ている圃場では異物として混入しないよう、出荷調製時にしっかり確認しましょう。



★害虫の発生に注意しましょう！

アブラムシ・アザミウマ・ダニ等の害虫の増加が確認されています。薬剤散布をする際は、薬剤が葉裏等にもかかるよう、丁寧な散布を心がけましょう。

★熱中症に注意しましょう！

気温が高なくても湿度が高いと熱中症のリスクがあります。帽子の着用、通気性の良い衣類の着用、こまめな水分補給を行いましょう。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第5号
発行日：令和6年6月7日

調査日 令和6年6月5日（水）
調査圃場 53圃場（軟弱、きゅうり、スイートコーン、トマト、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、農薬・肥料メーカー、神戸市、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布 液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	キスジノミ ハムシ	中	増	プロフレアSC	100~ 300L/ 10a	2000~ 4000 倍	収穫前日 まで	3回以内
ほうれんそう	べと病	少	並	レーバフロアブル		2000 倍	収穫3日 前まで	2回以内
なす	アザミウマ類	中	並	グレースシア乳剤		2000 倍	収穫前日 まで	2回以内
きゅうり	アブラムシ類	中	増	コルト顆粒水和剤		4000 倍	収穫前日 まで	3回以内
えだまめ	カメムシ類	中	増	トレボン乳剤		1000 倍	収穫14 日前まで	2回以内

★圃場の排水を再確認しておきましょう！

今後梅雨入りし、圃場に水がたまると根傷み等の発生が予想されますので、事前準備が必要です。

- 排水の悪い圃場は、乾いたタイミングで谷をさらって水が流れることを確認しておきましょう。
- 前回の大雨でごみが詰まっていないか、落としまでしっかり水が流れているか圃場全体を確認しておきましょう。

★降雨後の湿害に気をつけましょう！

- 湿害で根が傷んだ状態で追肥等をするとう逆効果となってしまいます。
- 降雨による湿害の後に高温による乾燥といった天候の変化が起こると、野菜が弱ってしまいます。

★液肥を薄めに希釈して葉面散布するなど、草勢の維持に努めましょう。



★害虫に注意しましょう！

今後気温の上昇とともにアブラムシ類やアザミウマ類等の害虫の発生が増加すると考えられます。農薬散布だけでなく、じゃがいもやタマネギ等の残渣が圃場に残っていて残渣に害虫がついていると、他の作物へ移る場合がありますので、残渣の片づけも早めに行ってください。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病虫害発生予察情報

令和6年度 第4号
発行日：令和6年5月24日

調査日 令和6年5月22日（水）
調査圃場 39圃場（軟弱、きゅうり、スイートコーン、トマト、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、農薬・肥料メーカー、
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	キスジノミ ハムシ	中	並	アニキ乳剤	100～ 300L/10a	1000～ 2000倍	収穫前日 まで	3回以内
とうもろこし	アワノメイガ	少	並	パダン粒剤4(劇)	-	6kg	収穫7日前 まで	2回以内
えだまめ	ハスモンヨトウ	少	並	アフーム乳剤	100～ 300L/10a	1000～ 2000倍	収穫3日前 まで	2回以内

★カタツムリ・ナメクジ被害に注意！

カタツムリやナメクジによる被害が発生しています。発生時にはハウスの侵入口付近や作物近辺等に薬剤を均一に処理してください。

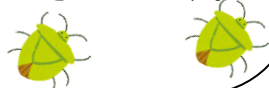
薬剤が作物にかからないように注意してください。薬剤:スラゴ



★カメムシの注意報が発表されました！

兵庫県病虫害防除所より、「果樹カメムシ」の注意報が発表されています。県内全域及び全国的にも発生が多くなると予想されていますので、果樹園や近隣の圃場、特に山林に近い園地では発生に注意してください。

果樹カメムシ類は夜間を中心に活動するため、薬剤は夕方に行うと効果が高いです。また、移動性が高いため、薬剤散布は広域的に一斉に実施し、地域全体の密度を下げるのが望ましいとされています。



★コナジラミの発生を予防しましょう！

近年神戸西管内でコナジラミ類の発生が増加しています。大発生してからでは対策が難しいため、次のことに生産者一人ひとりが意識をもって取り組みましょう。

① 雑草管理の徹底

コナジラミ類の住処となる圃場内、周辺の雑草を無くしましょう。

② 薬剤による防除

発生初期に登録農薬で薬剤防除を実施しましょう。(野菜類で使用可能な気門封鎖系の薬剤例:エコピタ液剤、フーモン)

③ 残渣処理(後片付け)を確実に！

残渣を放置するとコナジラミが大量発生することがあります。露地栽培の場合は、収穫しない作物はすぐに処分し、残渣は肥料袋などに入れて口を閉める、1か所に集めてビニール等で覆うなどして、コナジラミが増えない、飛んでいかないようにして下さい。施設栽培の場合はハウスを閉めた状態で株元を切り離し、完全に枯れてコナジラミが死んでからハウス外へ持ち出して処理して下さい。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病虫害発生予察情報

令和6年度 第3号
発行日：令和6年5月10日

調査日 令和6年5月8日(水)
調査圃場 37圃場(軟弱、トマト、スイートコーン、たまねぎ、えだまめ など)
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター
農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	キスジノミ ハムシ	少	増	プロフレア SC	100~ 300L/10a	2000~ 4000 倍	収穫前日 まで	3回以内
ほうれんそう	ホウレンソウ ケナガコナダニ	中	並	ディアナ SC		2500 倍	収穫前日 まで	2回以内
ねぎ	ネギアザミウマ	中	増	アニキ乳剤		1000 倍	収穫3日前 まで	3回以内
ばれいしょ	アブラムシ類	少	増	ランネット45DF(劇)		1000~ 2000 倍	収穫7日前 まで	5回以内

今回発生は確認されませんでした。スイートコーンで「アワノメイガ」等の発生が予想されます。出穂している圃場では「パダン粒剤4(劇)」等で防除しましょう。

★害虫の増加に注意！

・気温の上昇に伴い、アブラムシ類やアザミウマ類、キスジノミハムシなどの害虫の増加が予想されます。

＊こまめに圃場を確認し、発生の予防や発生初期の薬剤散布に努めましょう。

＊畦畔の草刈り後に害虫が近隣圃場へ移動することが考えられます。侵入経路を塞ぐなど、対策をしましょう。

★玉ねぎベと病発生圃場は適切に処理しましょう

・多くの圃場でベと病の発生が確認されました。罹病株は抜き取り、ビニールや肥料袋等に密閉して圃場の外で処分しましょう。

・罹病株の残渣は圃場にすき込まないようにしましょう。次回以降の作での感染源となります。



★スイートコーンの肥切れに注意！

・スイートコーンの肥切れが散見されました。

・本葉5~6枚が1回目の追肥のタイミングです。

☆湿害による「根傷み」がある場合は、追肥をしても、養分が根から吸収されにくいです。

薄めの液肥を葉面散布して、草勢を回復させてから、追肥するようにしましょう。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第2号
発行日：令和6年4月26日

調査日 令和6年4月24日（水）
調査圃場 43圃場（軟弱、にら、トマト、たまねぎ、えだまめ、いちごなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、農薬・肥料メーカー
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ほうれんそう	ホウレンソウ ケナガコナダニ	少	並	ディアナSC	100～ 300L/10a	2500倍	収穫前日まで	2回以内
非結球あぶらな科 葉菜類 (チゲンサイ、畑わさ びを除く)	キスジノミハム シ	中	並	スタークル顆粒水 溶剤		2000倍	収穫3日前 まで	2回以内
いちご	ハダニ類	少	並	コテツフロアブル		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
トマト	葉かび病	少	並	ダコニール1000		1000倍	収穫前日 まで	4回以内
たまねぎ	べと病	多	増	ジマンダイセン 水和剤		400～ 600倍	収穫3日前 まで	5回以内
	白色疫病	中	並			400～ 500倍		
ばれいしょ	アブラムシ類	少	並	モスピラン顆粒水 溶剤（劇）	2000～ 6000倍	収穫7日前 まで	3回以内	

【たまねぎのべと病が多発！！】

多くのたまねぎの圃場でべと病の発生が見られました。
次のような場合は、今一度薬剤防除を実施しましょう！

- ★出荷まで（2週間程）期間がある。
- ★直近の薬剤散布から日数が経過している。

べと病が進行し、たまねぎの中まで入ってしまうと品質が低下します。これ以上の蔓延を防ぐ対策を実施しましょう。



【気温の上昇に伴う病害虫の増加に注意！】

気温の上昇により、「キスジノミハムシ」「アザミウマ類」や「アブラムシ」等の害虫の活動が活発になっています。発生初期に対応できるよう、圃場をこまめに巡回し、周辺雑草の処理等、発生を抑制するような取組を実施しましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和6年度 第1号
発行日：令和6年4月12日

調査日 令和6年4月10日（水）
調査圃場 45圃場（軟弱、トマト、スイートコーン、にら、ねぎ、たまねぎ、いちごなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、農薬・肥料メーカー
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ほうれんそう	ハウレンソウ ケナガコナダニ	中	並	モベントフロアブル	100～ 300L/10a	2000倍	収穫14日前 まで	3回以内
	べと病	-	並	アリエッティ水和剤		1500倍	収穫前日ま で	2回以内
レタス	菌核病	少	並	アフェット フロアブル		2000倍	収穫前日	3回以内
たまねぎ	べと病	中	増	リドミルゴールド MZ ※1		500～ 1000倍	収穫7日前 まで	3回以内
いちご	ハダニ類	少	並	フーモン	150～ 500L/10a	1000倍	収穫前日ま で	-

※1 ジマンダイセン水和剤との合計使用回数に注意！

【たまねぎのべと病に注意！！】

多くのたまねぎの圃場でべと病の発生が見られました。今後も発生の好適な環境と予想されていますので、圃場をよく観察し注意して下さい。

◆対策◆

- 罹病した株は、直ちに抜き取りビニールに密閉して圃場の外で処分する。周辺半径2m程の株については特に注意して確認してください。
- 薬剤散布をしていない圃場では発生の有無にかかわらず、薬剤防除する。

【害虫の発生に注意！！】

気温の上昇に伴い、アザミウマ類やアブラムシ等、害虫の増加が予想されます。発生の予防や初期対応を心がけましょう。

【ナメクジ類の対策について】

ハウスの軟弱野菜でナメクジやカタツムリによる食害がみられました。今後も発生が続くと予想されます。

対策①発生源を除去する

- ハウス、圃場内及び周辺の雑草等を除去する。(枯草等も住処になるため、置いたままにしない。)
- 生息地に薬剤を処理する

対策②被害発生初期に薬剤処理する

- 葉の間に潜むようになると薬剤への誘引効果が低いので、野菜の中へ入り込む前に処理するのが良い。

【薬剤例】スラゴ

※作物へかからないように注意！



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。